

令和5年度 奈良市母子保健推進会議の意見の概要	
開催日時	令和5年9月7日(木) 午後3時から午後4時30分まで
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター2階 育児教室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和4年度母子保健事業の実績報告 ▶ 母子保健事業における課題
参加者	出席者7人 ・ 事務局9人
開催形態	公開(傍聴人なし)
担当課	奈良市健康医療部母子保健課
意見等の内容の取り纏め	
事務局による事業実績等の説明の後、出席者に意見等を求めた。	
<p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <p>1 令和4年度母子保健事業の実績報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ <u>基盤課題A「切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策」</u> 出産がゴールではなく、良い出産が良い育児のためのスタート。良い出産のためには妊娠期からの準備が大切。退院してからのイメージができることで、上手く育児ができていることが多い。 ▶ <u>基盤課題B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」</u> 母子保健・学校保健それぞれの強みを生かし協力して思春期対策に取り組んでいる。助産院では妊娠に関する相談だけではなく、親子で聞く性教育の提案や、不妊治療を含む妊活相談、更年期相談、女性の一生に関わる相談対応もしている。 ▶ <u>基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」</u> のびのび講座で親子と支援者の顔の見える関係を作るきっかけを持てたことは良かったため、引き続き行っていきたい。子育て広場では、プログラムも取り入れながら保護者が子育ての仲間を見つけたり、支援者とつながったりすることができている。関係機関からの紹介やポスター掲示などで周知を行うことで、子育て広場に繋がれる親子が多い。 ▶ <u>重点課題①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」</u> <u>重点課題②「妊娠期からの児童虐待防止対策」</u> 児童発達支援の利用は低年齢化している印象がある。幼児健診が集団健診に戻ったことで、子どもの発達について確認できる機会が持っていることは安心できる。心理的虐待などは特に、保護者からの表出も丁寧に確認しながら、関係機関で連携支援を行う必要がある。 育児サポートがない保護者には産後ケアやショートステイでの見守り支援が必要だと感じるため、今後の拡充を期待している。 	
配付資料	
<ul style="list-style-type: none"> ①ライフステージ別母子保健事業一覧 ②奈良市母子保健事業実施体制 	